



「コミュニティユニオン東京」ニュース NO-081号 2016年9月23日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館1F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

CU東京1000人早期達成を！

41人参加 CU東京組織拡大決起集会 9月17日ラパスホール



★左・CU東京を大きくすることを訴える小倉委員長。
★右・非正規が当たり前の時代、労働組合の役割について報告する平山副委員長

今日の情勢でCU東京を大きくすること

CU東京1000人を早期にやり遂げるため、初めて「組織拡大決起集会」を、9月17日(土)13時30分より開催、ラパスホールに41人が参加しました。

冒頭、小倉一男執行委員長は「安倍首相は参院選で改憲派が三分の二の議席を確保したことで安保法制、戦争法の実行、さらに労働者の権利を奪う労働法制改悪を狙っている。一方、野党共同の候補11人が当選したのは、市民団体と野党の共闘の力だ。今日の情勢においてCU東京を大きくすることは大変大きな意義のあること、組合員みんなが気持ちを一つにして、必ず1000人を達成しよう」とあいさつしました。

「歴史的な運動にしていこう」

東京地評の菊池光男組織局長がかけつけ、「東京地評も50万人を目指して12月まで組織拡大月間を取り組む、CU東京が先陣を切ったの取り組みに感謝する。成功させて歴史的な運動にしていきたい」とよびかけ激励しました。

第一部では平山和雄副委員長が「雇用情勢の変化と労働組合」と題して、非正規雇用が当たり前の時代、組合員でない労働者の目からも「頼りになる労働組合」として地域におけるプレゼンスを示す活動が求められていると報告。高木典男書記長が「年内1000人達成めざす具体的組織拡大方針」を提起しました。今までの枠を超えて、組合を応援していただける組織や個人に積極的に訴え、協力組合員をみんな増やそうと、各支部ごとの目標人数も提案しました。必ず達成し存在感を一気に高めよう、と熱い提案を行いました。

CU東京1000人達成 「記念集会」

■12月10日(土)
■ラパスホール (予定)

提起の中で、3ヶ月(9月から11月)の月間を成功させ、目標を達成し「記念集会」を開きます。ご予約ください。

9.17組織拡大月間、一面のつづき 4支部から闘いの報告、決意表明

○香取義和さん(ユニオンちよだ副委員長)
若者にアピール 大いに組織も増やしたい



ちよだは今年10回目の大会、本部より早く結成、CU東京に合流。今、若者にアピールするHP、フェイスブックを作成。大和ハウス工業のパワハラ解雇の白林さんの闘いで8月26日対策会議を開き、勝利へ意思統一。大いに組織も増やしたい。

○海崎治代さん(渋谷支部書記長)
地域労組の大切さを産別の組合に訴え



オレンジのカラーベストを着て、笹塚商店街や日本高齢者大会会場・大正大学で宣伝をした。8月6日の執行委員会で次期大会まで200人の渋谷を目指すことを確認。地域労組の大切さを産別の組合に訴えてきている。先日も1名拡大。CUの名前も広がってきた。

○三宅一也さん(三多摩協議会書記長)
早期に50人、やればできる



組合員は現在が166人。9月11日拡大執行委員会に20人が参加、元全労連議長の坂内さん、白根八王子事務所の弁護士の講演。安定した200人組織実現へ。早期に50人拡大めざす、やればできる。10月30日に小金井公園でバーベキューを計画、11月2日に土建支部、教職員組合、医療関係労組など訪問する。必ず目標はやりぬく。

○矢内富夫さん(文京支部組合員)
必ず勝利する。みなさんの支援を



今、「自らの裁判を、雇用延長を認めろ!、退職金を払え」と闘っている。法律に記された雇用延長を認めない会社です。必ず勝利する。みなさんの支援を訴えました。

第二部 懇親会 決意込めてみんなが発言

★品川・佐藤さん=退職金闘争の解決後に残念ながら組合員が組織を離れた。それを取り返す取り組みに奮闘していく。

★かつしか・益子さん=土建の役員をしている。CU東京は様々なことをやる組合ですごい。私も頑張る。★江戸川・増田さん=私は労働現場で怪我したが労災はないと言われた。CUに相談し解決できた。回りに声をかけて仲間を増やしたい。

★北・野中晴さん=区労連の幹部が、今度協力を約束してくれた。力を合わせて前にすすみたい

★こうとう・関川さん=部長のパワハラで降格され、人格否定等で精神疾患となり1年休業したが、闘って労災認定を勝ち取り復帰できた。この経験を力に奮闘していく。

★文京・山田さん=高齢者が最低賃金ギリギリで働かされている、CU拡大の対象者だ。声をかけていこう。★東京土建・唐澤さん=国の方針で事業所の社保加入が強化、保険料が払えない事業所が増え、実態は労働者、一人親方にせざるを得ない状況。法定福利費を確保するなど労働者を守ること。CU東京の拡大に

「物心両面の支援を」の声もいただき、応えていきたい。★渋谷・伊藤さん=このあと支部の執行委員会、今日の提起を受け目標やりぬく。★労働相談センターの前澤檀さん、かつしか・野口さん、ちよだ・鈴木さん、三多摩・小野塚さん、鈴木さん、木口さん、尼崎さんが発言、大いに盛り上がりました。最後に大江拓実副委員長の団結がんばろう三唱で閉会しました。



日本高齢者大会で CU東京を大宣伝

8月28日会場・大正大学 CU渋谷支部

坂内元全労連議長が講演 秋の拡大50人必ず CU三多摩の拡大執行委員会



CU渋谷支部は、宣伝活動を定期的に取り組んでいます。街頭、地域で、

この間、「最低賃金を今すぐ1500円に」「労働相談はCU渋谷・渋谷区労連に」と商店街など訴えています。8月28日、第27回日本高齢者大会が東京で開かれ、大正大学の中庭でプラスターを着け、全国からの参加者に用意したCU東京のリーフを1000枚配布しました。高齢者大会の分科会では「貧困問題」「生活保護・最賃」等が企画され、労働組合の役割なども提起されました。「貧困問題」を取り上げた分科会も超満員になりました。チラシを受け取った参加者の中には質問してくる人もありました。本部からも3人が参加、全体で10人で成功させました。

大会実行委員会の大会の速報の第1号に写真入りでCU渋谷の宣伝行動が紹介されました。

神奈川の地域労組と交流 15地域労組が協議会づくり活動



9月2日、東京地評の会議室で神

奈川の地域労組と東京から新宿一般、CU東京が参加し交流しました。神奈川からは8人が参加、それぞれの地域の取り組みを学ぶことができました。神奈川労連では今度の大会で議案の一つに地域労組の強化について提案しています。神奈川は15地域労組が協議会をつくり運動しています。CU東京からは平山、川村、大江の各副委員長、高木書記長が参加、CUの到達と当面の活動を報告・交流しました。

大会後の第1回執行委員会は9月11日（日）、国分寺労政会館に20人が参加、坂内三夫元全労連議長と八王子法律事務所の白根心平弁護士の講演を受け開催。坂内



さんは「労働組合をめぐる新しい認識と個人加盟労組問題」と題し、労組の組織率が後退する中、社会的影響力が低下している問題、個人加盟労組の重要な役割について、自らの体験を踏まえ講演。「坂内講演はわかり易く、胸におちるね。もう人肌脱いでもらおう」の声が聞かれました。

執行委員会は、三多摩組織が166人の到達を踏まえ、当面200人を早期に達成することを最大の課題とし、組合・支部訪問を確認しました。すでに、多摩稲城地域で、労組訪問を実施、いくつかの組合との懇談、CU東京への加入を要請しました。10月30日（日）には拡大運動交流バーベキュー大会（11時：小金井公園）、最低賃金改定とCUをアピールする立川駅前宣伝行動（10月19日15：30～）を行います。

先ごろ、介護現場で働く相談者から「年休とれました」と担当した尼崎副委員長にお礼の手紙が届きました。介護の現場は慢性的な人手不足、「まとまって年休を取ることを口にしばらく雰囲気。権利を知らず退職する方もいる」と訴えます。尼崎さんは、労基法上の権利や資料提供し、職場の上司と交渉するよう援助する中、事業者の理解を得て解決を図ることができました。感謝の手紙は、仲間を励ましています。本部のCU東京の本部が初めて取り組んだ組織拡大決起集会で1000人達成と、三多摩として50人拡大、安定した200人組織をめざす決意を固めました。右は執行委員会後の懇親会。

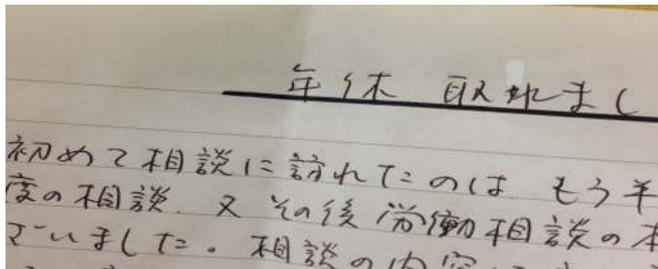


「組合に相談し、解決し、その後、組合に加入された二人から支部に手紙が寄せられ、本部に紹介がありました。以下、掲載します。紙面の都合で抜粋・要約しました」

組合があつてよかった 相談者からの手紙 三多摩協議会

労働相談の本ありがとうございます。このたびは本当に自分たちの知識がないことを痛感させられました。労働基準法で年休取得の権利があることを知らずに退職する方がいます(私もそうでしたが)。職場(介護現場)は慢性的な人手不足で、まともに年休を取る事を口にしづらい雰囲気があります。そんな中、勤続年数の長い人が年休をとらずに退職していく方がいます。それならせめて退職時に年休を消化したいと思えますよね。

私も病気になり長期休養を余儀なくされ、余った年休を捨てることになると思いましたが、組合のおかげで会社と話しができ、1カ月間の年休をとることができました。本当によかったです。入院中に、組合の通信費が不足していると記事を見て、少しですがテレホンカードを役立ててください。(組合員Aさん)



会社におかしいこと、 正しいことを伝えること たどり着いた品川労協・CU品川

退職にいたるにあたって、仕事をしながら疑問に思っていたこと、正しいのか間違いなのかもわからずに日々すごしておりました。事務員として韓国系の企業に入社、3カ月過ぎた頃より、営業をしてほしいと言われ断りつづけました。約半年後、1年でも良いから、インセンティブもあると言われ営業を承諾。そこから、熱心な指導を疑問に感じる様になり、上司から夜中や週末の電話、夏休み

も上司に申請をしなければとれず、申請は1日。とらない人も。入社 conditions に夏休み、有給ありと、約1年間上司から頻りに電話、土日出勤の代休なし、彼氏を作るな、結婚してよい年齢も言われ、異常に感じ、退職届けを今年3月に提出。頑張った自分はなんだったのか、知人に相談した所、労働基準監督署に行ってみたらとアドバイス、契約を交わしていないのでお金をもらうのは難しい、パワハラで訴えたらどうかと目に見える答えはなく、いくつか相談所の電話を、そして品川労協・CU品川に辿り着きました。担当のSさんは親身に話を聞き、何も知らない私に分かりやすく教えてください、組合に入り、会社と団交が始まり、2回、私も参加、思っていることをすべて話しました。金額は正直納得いくものではありませんでしたが解決。危機感が少しでも会社側に伝えられたらと思いました。おかしいと思ったことや、正しいことを伝えることは悪いことではなく良いことだと思います。契約書の重要性、疑問に思うことは早い段階で聞くことも大切と勉強になりました。品川労協やCU品川に大変お世話になりました。今後とも宜しくお願いします。(組合員 Hさん)

2016年10月1日から932円 東京都最低賃金

東京都内に働く人は10月1日から時給932円に改定になります。対象は正社員、パート、アルバイトなど働く人すべての労働者です。

すぐに時給1000円、そして1500円の実現を!

◆はじめての拡大決起集会をです。9月17日、初めての決起集会、参加者が心配されましたが各支部から駆けつけていただき41人になりました。非正規が当たり前の時代、情勢の求めに応えようとの小倉委員長のおよびかけに応える発言が相次ぎました。◆東京の最低賃金が932円。10月から東京は25円引き上げになり、932円になりました。先日、阿佐ヶ谷の焼肉屋で食事することあり、階段が上がっていくと、「アルバイト募集時給900円」と大きくあり、アゼンとしてしまいました。あらためてアピールし宣伝し広めていく必要性を強く感じました。